

< 事業概要 >

観光基盤・コンテンツ整備事業

1 事業の目的

伊豆半島への来訪者獲得のため、市場調査やデータ分析、商品造成、人材確保等の観光地域づくりの様々な基盤を整備する。

2 事業概要

事業名	事業概要	予算額（千円）
次期活動計画策定事業 【新規】	【目的】 当センターの活動の基本となる3ヶ年計画が来年度で終了することから、次期計画を策定する必要があるため。 【概要】 7市6町首長会議の意向を踏まえた次期計画の策定 【スケジュール】 7.8月～ ・現計画2023-2025の成果等の検証。 ・7市6町首長からの意見徴取。 ・会員、構成団体等からの意見聴取。 1月以降 ・活動の目的、内容、KPIを中心にとりまとめる ・7市6町首長会議での報告、承認	5,720
観光に関する住民満足度調査事業	【目的】 「持続可能な観光の振興」には、観光に対する生活者の理解が不可欠である。このため、生活している地域住民が観光に対してどんな考えを持っているのか調査・分析し、各項目に対して理解を高める施策をする必要があることから調査を行う。 【概要】 ・構成市町住民の観光に対する理解を高める施策とKPI指標に用いるためアンケートと分析を行う。大項目で6個程度を予定。 ・観光庁DMO報告KPIに設定している。 ・コロナ明け2023から実施。 【スケジュール】 ① 6月契約 ② 7月設問設定 ③ 8月配布 ④ 9月～10月回答期間 ⑤ 11月～12月 ⑥ 1月～2月分析 ⑦ 3月構成市町報告	3,540 フレンドシップ (2,360)
伊豆半島満足度調査事業	【目的】 伊豆半島の経済社会の構造を来訪者の満足度の視点から多面的に把握し、DMO運営に活かすことを目的に実施。 【概要】 ・ポスター・チラシに掲載のQRコードによるWEBアンケートの実施。 ・設問内容として、旅行者情報、旅行前予算、実支出、予算と支出のギャップを明らかにする。 ・令和7年度をもって補助事業期間が終了するた	3,000 フレンドシップ (2,000)

事業名	事業概要	予算額（千円）
	め、令和6年度の調査結果（消費のギャップ等）を周知する。補助事業の性質上、同様の内容を令和8年度以降は継続できない。継続する場合、新規事業として内容を組み換えるため、どのような視点と設問でどのようなデータを得られると会員にとって有効なのかを検討するとともに、会員に何う機会を設けることについても併せて検討する。 【実績】 令和5年度：7月～2月アンケート調査実施 令和6年度：令和5年度調査結果報告・7月～2月アンケート調査実施・3月調査結果納品 次年度に設問検討 【スケジュール】 ・4月：令和6年度調査結果報告 フレンドシップ申請 ・6月：ポスター・チラシ印刷・納品・配布分析業務委託契約 ・7月～2月末日：調査期間 ・3月：分析結果納品	
産学連携事業	【目的】 地域課題等について、県内大学のゼミに調査・研究・分析を依頼し、今後の施策に生かす。 【概要】 以下の手順で実施。 ①地域課題等の選出 ②県内大学で構成される「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」に依頼 ③大学のゼミで①の課題等について調査・研究・分析を行う 【スケジュール】 ① コンソーシアム登録大学への課題提示 ② 受入れ大学決定 ③調査研究 ④成果発表	200
企業研修意向調査事業	【目的】 企業研修・ワーケーション等誘致に向け伊豆半島各地域の強みや戦略を明確にし、各地域のコーディネート力強化・受け入れ体制の充実を図り、関係人口や将来的な移住・定住人口の増加を目指すとともに、地域振興に繋げる。 【概要】 ・「東伊豆エリア」「南伊豆エリア」「西伊豆エリア」「中伊豆エリア」4つのエリアに分け、各エリアの特性を活かした企業研修・ワーケーション等のプランの立案や情報発信、ターゲットとなる企業・個人等へのアプローチ、各エリア相互の連携を強化し構成市町の関係人口増や将来的な移住・定住人口の増加を目論む。 【スケジュール】 令和6年度に実施した伊豆半島エリアごとの調査結果に基づき、モニターツアーを実施。	1,800 フレンドシップ (1,200)

事業名	事業概要	予算額（千円）
観光事業者採用支援事業	【目的】 宿泊事業者の人材不足対策として、県内外の学生を対象とした合同会社説明会及び施設見学を実施し、学生の伊豆地域への就職意識を高めるとともに、人材確保につなげる。 【概要】 (1) 合同会社説明会 ・伊豆半島の宿泊事業者から出展事業者を募る。 ・対象者は翌年度の3月に卒業予定の県内、関東圏の学生（大学生、短大生、専門学生）等 (2) 施設見学（フレンドシップ助成金申請事業） ・合同会社説明会に参加した学生に施設見学を案内する。 ・学生に宿泊事業者の施設見学や先輩社員との交流、おもてなしを体感してもらう。 ・後日参加報告書を提出 【スケジュール】 (1) 合同会社説明会 10月：出展者募集 11～2月：広報活動、特設HP制作 学校訪問 2～3月：合同会社説明会開催 (2) 施設見学（フレンドシップ助成金申請事業） 4月：前年度説明会で募集した学生の施設見学 5月以降：学生募集し、都度施設見学実施 2～3月：合同会社説明会で次年度の施設見学募集	4, 650 負担金 (1, 300) フレンドシップ (1, 333)
風景街道活用事業	【目的】 なごみの伊豆なごみの道風景街道の知名度向上および伊豆半島における道路網整備推進の機運醸成のため、住民や来訪客等に対して広報する。 【概要】 ア：情報発信 ・美伊豆HP等による イ：イベント等での広報 ・観光物産展等でのPR ウ：他地域との交流 ・中部意見交換会等への参加 【スケジュール（予定）】 ・9月受託、事業実施、2月完了	1, 000 国委託金 (1, 000)
「誰もが楽しめる観光地伊豆」魅力発信事業	【目的】 「誰もが楽しめる観光地 伊豆」をコンセプトに、様々なハンディキャップを持つ方や家族連れの方等にもやさしい観光地として、受入態勢	1, 200 フレンドシップ (800)

事業名	事業概要	予算額（千円）
	の調査等に取り組む。 【概要】 様々なハンディキャップのある方や家族連れの方等に対して、ユニバーサルデザイン等の配慮がなされた、旅行者にとってよりやさしい観光地としての受け入れ態勢の調査や情報発信をする。 ・令和7年度は令和6年度のアナケート等による実態調査（ユニバーサルツーリズムの普及状況や先進事例等の把握）を踏まえ、受入態勢等の情報を発信する。	
ペットに優しい伊豆の旅（ペットツーリズム）調査推進事業	【目的】 「ペットに優しい伊豆」を積極的にPRし、ペットツーリズムの拡大及び観光消費額の拡大を図る。 【概要】 ペットに優しい伊豆の旅を積極的にPRするため、令和5年度に伊豆半島内の調査、令和6年度に訪問客調査を実施した。それらの結果を踏まえ、需要と供給がマッチするプロモーションを実施していく。 令和6年度事業の結果を踏まえた施策の実施（パンフレット作成、イベントおよびモニターツアー等）	3,000 フレンドシップ (2,000)
データ分析利用促進事業【新規】	【目的】 データ分析技術を活用し、観光客のニーズを的確に把握することで、持続可能な観光地域づくりを目指す。また域内市町職員のデータ分析能力の向上を図り、データ分析に基づいた効果的な観光施策を展開できるようにすることで、観光客の満足度向上と再訪意欲を高める。 【概要】 静岡県データ分析プラットフォームを利用し、域内市町職員および観光協会等へ当該システムの操作方法から分析方法の説明会を行い、地域課題等を可視化し、その解決に向けた具体的な対策を検討する一助とする。 【①説明会の実施】 ・静岡県データ分析プラットフォームの操作方	200

事業名	事業概要	予算額（千円）
	法、活用方法の説明会を実施する。 【②域内市町からのデータ集約】 ・域内市町によって抽出したデータ分析プラットフォームの観光データを集約し、関係機関へ情報提供を行う。	
合 計		24,310 (11,993)

※（ ）内：市町負担金や会費以外の補助金や負担金等の特定財源

< 事業概要 >

観光情報発信強化事業

1 事業の目的

SNS等を活用し的確に発信し、伊豆半島への誘客を推進する。

2 事業概要

事業名	事業概要	予算額（千円）
伊豆半島情報発信強化事業	【目的】 国内の旅行者全体のうち9割が個人旅行者、FITも8割を超えており、今後もこの水準が維持されることが予測される。この個人旅行者が安易に情報収集できるよう露出を増やす。 他の旅行者の体験や口コミをもとにプランを作成することが多く、最新の情報を求めてSNSを活用し情報収集を行うため、旅行者目線に立った新鮮な情報を柔軟に発信する。 【概要】 ・「伊豆半島観光情報公式サイト B-IZU」内容の充実 ・周遊ルート案内サービスアプリ「japan concierge」の継続運用 ・伊豆半島英語版ホームページ「EXPLORE-IZU」の継続運用 ・SNSで旅行者が求める情報の発信 ・SNSの投稿作成等の研修会 ・素材及び情報収集のための取材 【スケジュール】 4月 EXPLORE-IZU・B-IZU 保守契約 4月～ 取材 毎月 イベント情報の更新	7,000
合 計		7,000

< 事業概要 >

国内観光誘客事業

1 事業の目的

各種事業で磨き上げた商材を活用し、伊豆半島への誘客を推進する。

2 事業概要

事業名	事業概要	予算額（千円）
国内観光誘客事業	【目的】 国内（主要駅や大型商業施設）等での観光キャンペーンや静岡県観光協会及び交通事業者と連携したエージェントセールスなどを積極的に実施し、公共交通機関の利用拡大及び伊豆の魅了の情報発信、誘客促進を図る。また、関西圏等への更なるセールスを展開する。 【概要】 ・（共通）季節ごとの重点テーマ（花・花火等）を PR ・国内での観光キャンペーンの開催、国内の観光展等への出展等（大型観光キャンペーン事業を除く）1,000 千円 ・県観光協会と連携したエージェントセールスの実施及びエージェント説明会への参加300 千円 ・関西圏・中京圏等に対するプロモーション500 千円 ・伊豆半島 13 市町を紹介する伊豆総合パンフレット、ドライブマップ等の作製2,200 千円 ・交通事業者と連携した観光キャンペーン事業（県観光協会補助金事業）1,000 千円 【スケジュール】 ・観光商談会は 9 月～10 月にかけて参加予定（通常 2 回の開催） ・ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸 9 月 25 日（木）～9 月 28 日（日）	5,000 負担金 (1,000)

事業名	事業概要	予算額（千円）
旅行プログラム施策及び流通促進事業	【目的】 教育旅行の推進として、令和4年度に作成した学習ノート「伊豆×探究」を活用した伊豆半島内での探究学習の整備と活用した教育旅行のセールスを行うことで、2年後の教育旅行誘致を行う。 【概要】 伊豆半島への教育旅行、特に中高生による探究学習を中心とした教育旅行の誘致を行う。また、昨今の教育旅行で求められている探究学習へ対応していくためのWS等の実施。 メインターゲットとして想定している東海地方、関東圏に対して、令和6年度より静岡県観光協会が設置した教育旅行推進アドバイザーと連携し営業を実施する。下田市または西伊豆方面でのWSの実施予定。引き続き、県観光協会の実施する教育旅行AGへの同行セールス学校へのDM送付。 【実績】 令和5年度 熱海高校 38名：修善寺エリア 令和6年度 熱海高校 40名：修善寺エリア 横浜市立新田中学校 270名：大室山・城ヶ崎エリア 大阪府立大正白稜高校 91名：大室山・城ヶ崎エリア 【スケジュール】 4月：静岡県観光協会営業予定の確認同行スケジュールの調整	800
歴史遺産周遊活性化事業【新規】	【目的】 ア：自治体の境界を越え、滞在期間の長い周遊型の観光を促進すること。 イ：忘却された文化資源を再活性化しつつ、欧米からの個人旅行者に訴求しうる、文化に根ざしたオーセンティックな体験の機会を創出すること。 【概要】 本事業は、令和6年11月に静岡新聞社より刊行された『古道のジオパーク』に基づき、同書が提案するかつての巡礼路「伊豆遍路」を活用した周遊観光を促進するものである。 ア：同書には、現在18コースの日帰りウォーキングコースが提案されている。本事業では、同書とタイアップし、これらのコースのいくつかを、ウォーキング、サイクリングなどの形で辿るツアーを実施する。また、同書の取材にあたってきた有限会社 IZAIKU との連携の下、コー	1, 435 地域づくり (1, 430)

事業名	事業概要	予算額（千円）
	スに沿ったデジタルスタンプラリーを漸次実装してゆく。 イ：本事業のコンテンツは、日本特有の文化に根ざすオーセンティックな体験を求める欧米個人観光客に対する潜在的な訴求力を有すると考えられるため、英語での情報発信やガイドツアーに注力し、中長期にインバウンド観光に活用できるコンテンツとして育成する。 【スケジュール】 6月：関係者調整会議	
公共交通周遊活性化事業 【新規】	【目的】 二次交通の利用促進により、渋滞緩和・伊豆半島の周遊の活性化に繋がる。 エリア毎に分け、観光客の送客増に繋げる働きかけをする。 【概要】 伊豆半島のエリア毎に周遊への促進を行う。令和7年度は、西伊豆エリアを重点エリアとする。次年度以降は別エリアで実施予定。 東海バスが西伊豆エリアを主とする乗り降り自由のフリー切符を新規に設定する。 デジタルチケットで、西伊豆エリアの観光施設を使用できるチケット付き乗車券を割引価格で販売し、西伊豆エリアへの誘客を行うとともに、周遊促進を行う。 【スケジュール】 4月：東海バスと販売方法についての協議 6月：販売開始 1月：効果検証と次年度重点エリアの選考	1, 565 地域づくり (1, 560)
サイクリングリゾート PR 事業	【目的】 サイクリングリゾート伊豆 PR のため、サイクルショー等へのイベント参加、その際にオリジナルノベルティ（ステッカー・サイクリングボトル）が当たる抽選会の実施することで、ブースの集客効果を高め、より多くの人へPRする。 【概要】 ア：サイクルショー等へのイベント参加サイクリストが集まるイベント（サイクルモード東京・サイクルスポーツデイズ等）へ参加し、SNS フォローで参加できるガラポン抽選会実	800

事業名	事業概要	予算額（千円）
	施によりブース集客・SNS フォロワー獲得を実施。 イ：オリジナルノベルティの作成サイクリングリゾート伊豆ステッカー・オリジナルデザインのサイクリングボトル作成し、イベント参加時の景品とする。オリジナルサイクルボトルは 200 本作成し、3 月の台北サイクルで 100 本、神奈川サイクルデイズで 30 本、名古屋サイクルデイズで 50 本、その他で 20 本をノベルティとして使用。 ウ：サイクリングリゾート伊豆の SNS フォロー数 X が 1,308、Instagram が 1,672 【スケジュール】 ・サイクルショー等へのイベント参加 サイクルモード東京 4/19～20 ・オリジナルノベルティ作成（5 月～8 月） ステッカー作成（6 月～7 月） サイクリングボトル作成（5 月～8 月）	
伊豆半島一周サイクリング開催事業	【目的】 伊豆半島 13 市町を通過しながら半島を一周するサイクリングルート「伊豆いち」を実施する。サイクリング上級者のリピート率向上、中級者の目標となるコース展開を行うことで、サイクリストによる地域への経済効果を向上させる。 【概要】 ルーツ・スポーツ・ジャパンが実施する期間型イベント「サイクルボール」への「伊豆いち」参画。伊豆半島一周する中で、13 市町を通過する「サイクルボール」内でも最難関コースとされている上級者向けコース。チェックポイントになっている商店へ立ち寄ることや 2 日かけて走る方もいることから地域への経済効果を得られる。ルーツ・スポーツ・ジャパンへ委託することで、全コースクリアを目指すサイクリストの周遊やチャレンジデイが設けられることでサポートを受けながら「伊豆いち」へチャレンジする機会の創出がされている。 過去のチャレンジ数 2022 年度 360 人	2, 200 JKA 補助金 (1, 466)

事業名	事業概要	予算額（千円）
	2023 年度 301 人 2024 年度 423 人 【スケジュール】 4 月：JKA 補助金交付誓約書提出・ルーツ・スポーツ・ジャパン委託契約 4～6 月：令和 5 年度 JKA 補助事業の自己評価（2 回目）提出 7～9 月：令和 8 年度 JKA 補助金要望提出 10 月：JKA 補助事業状況報告書提出 3 月：JKA 補助金精算払申請・完了報告	
サイクリングエリア交流事業	【目的】 他地域の事例・取組状況を調査し、伊豆半島の状況と比較・検討を行うとともに現地団体と今後の連携に向けた意見交換・交流を行うことで静岡県が掲げている東京 2020 オリンピックのレガシー創出、サイクルスポーツの聖地創造の実現に向けた活動の一助とする。 【概要】 ア：サイクリング先進地との交流事業 国土交通省が定めるナショナルサイクルルート「トカプチ 400」、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」、「富山湾岸サイクリングコース」、「ビワイチ」、「しまなみ海道サイクリングロード」の視察・交流を行い、「伊豆いち」をはじめとする他地域の事例を伊豆半島内のサイクリング関連の状況と比較し、伊豆半島ならではの特徴を見出し課題解決のための方策を検討していく。 イ：エロイカジャパンとの連携 エロイカジャパンとの連携を通じて、海外へ広く「伊豆いち」をはじめとするサイクリングリゾート伊豆を発信していくことでインバウンド需要の取り込みを目指す。 ウ：静岡県内連携・協力 静岡県が出展する台北サイクルなどのイベントへの協力、伊豆半島内で他団体が実施するサイクルイベントへの協力、静岡県内「かのいち」「富士いち」「するいち」といったサイクリングルートとの協力・連携。 【スケジュール】 ・エロイカジャパン協力（4/12～13）	960 フレンドシップ （640）

事業名	事業概要	予算額（千円）
	・ 自転車利用環境向上会議（10/31～11/ 1） ・ 3月台北サイクルへ静岡県出展の際の協力	
合 計		12,760 (6,096)

※（ ）内：市町負担金や会費以外の補助金や負担金等の特定財源

< 事業概要 >

国外観光誘客事業（インバウンド事業）

1 事業の目的

多岐に渡る旅行形態に合わせた事業を行い、国外からの伊豆半島への誘客を推進する。

2 事業概要

事業名	事業概要	予算額（千円）
欧米豪向けインバウンド事業	【目的】 FIT 比率の高い欧米豪に向けたプロモーションを行うことにより、伊豆半島への来遊者増大を図る。 【概要】 ア：英語圏に向けた PR 資料の作成 - PR 資料を委託にて作成する。作成資料は空港やホテル、外国人観光案内所などへの設置も検討するほか、次年度からのセールスにも利用する。 イ：英語圏インフルエンサーマーケティング 【スケジュール】 - PR 資料作成 7 月契約 9 月納品・WEB 公開 - インフルエンサーマーケティング 10 月契約 12～1 月取材 2 月公開	3, 600 地域づくり助成金 (3, 120)
東アジア・東南アジア向けインバウンド事業	【目的】 伊豆半島への来場者の多い地域にて、団体向けにエージェントセールス、FIT 向けに旅行博等へ出展し、伊豆半島の紹介及び認知度向上に務めることにより、来遊者増大を図る。 【概要】 - エージェントセールス - 旅行展等への参加 旅行展への参加については、それぞれの静岡県海外事務所と連携し、静岡県ブースにて情報発信を行い、シンガポールについては、JR 東日本横浜支社と連携しブース出展を行う。また、各渡航に合わせエージェントセールスを行う。 【スケジュール】 - エージェントセールス、旅行展 9 月韓国（日韓交流おまつり）、10 月シンガポール（Japan Rail Fair）	2, 810 地域づくり助成金 (2, 410)

事業名	事業概要	予算額（千円）
インバウンド向け旅行商品販売促進事業	【目的】 ・ 相互交流の理念に基づいた台湾からの誘客促進 ・ オンライン媒体（OTA・SNS等）を活用した、訪日インバウンド旅行者に対する商品販売促進 ・ 国内外の旅行展等における商品販売の促進 ・ 訪日旅行商品取り扱い事業者（海外旅行会社、在日ランドオペレーター等）に対する伊豆地域観光商材 の販売促進 【概要】 ・ 台湾視察研修事業（花蓮タロコ地区）相互交流の理念に基づいた台湾からの誘客の促進と伊豆半島のインバウンド担当者が現地に赴き、セールスの経験、県台湾事務所や、台湾観光協会との繋がりを持つことにより、伊豆半島への来遊者増大を図る。 ・ 台湾 AGT セールス 過去3ヶ年をかけて推し進めている準富裕層向けのプレミアムミニツアーのモデルコースや施設について、富裕層をターゲットとしている現地旅行会社若しくはランドオペレーターに向けたセールスを行う。 ・ KKDAY との連携強化を図り訪日インバウンド旅行者に対する商品販売促進を行い、来遊者増大を図る。 ・ ファム受入支援 【スケジュール】 ・ 台湾旅行展（11/7～10）、エージェントセールス、視察研修 11月 ・ 台湾 AGT セールス 2月	4, 600 地域づくり助成金 (4, 420)
合 計		11, 010 (9, 950)

※（ ）内：市町負担金や会費以外の補助金や負担金等の特定財源

< 事業概要 >

ジオパーク基本計画・行動計画推進事業

1 事業の目的

ジオパーク活動を推進していくうえで必要となる人材を育成するため、ジオガイドの育成、ジオガイド認定証取得者のスキルアップ活動を推進する。また、地元の理解を深めるため、ジオパークを様々な角度で楽しむ普及活動を展開する。

ESD の概念の普及と、学校教育との連携事業に取り組むとともに、教育教材の開発などを進めていく。また、ジオツーリズム・エコツーリズムの受入体制の整備やエコツーリズム推進を通じ、ジオパークの地域への更なる普及のための事業を実施する。

注) ESD＝持続可能な開発のための教育

2 事業概要

事業名	事業概要	予算額（千円）
ジオガイド養成事業	【目的】 ジオパーク活動を推進していくうえで必要となる人材を育成するため、ジオガイドの育成、ジオガイド認定証取得者のスキルアップ活動を推進する。また、ジオ検定事業は、ジオパークの普及啓発のための事業として定着、今後もジオパーク活動への興味や関心を持ってもらいジオパークを通じた伊豆半島の地域の活性化を図る。 【概要】 ジオガイド認定証取得者のスキルアップ講座及びジオガイド認定証取得者の更新講習を実施する。また、一般への普及活動の一環として、ジオ検定（１級、２級、３級）を実施する。 【事業計画】 (1) ジョガイドスキルアップ講習 全認定ジョガイドを対象にガイドスキル向上のための講習会を実施する。 ・ 11 月：内容確定、受講者募集 ・ 12～1 月：講習実施 (2) ジョガイド資格更新講習 認定ジョガイドは 5 年毎に更新講習を実施する。 ・ 11 月：内容確定、更新対象者への通知 ・ 12～1 月：講習実施 ・ 2 月：更新後認定証発行 (3) ジョ検定 ① ３級 6 月中：問題作成 7 月中：広報及び問題の配布 8 月末：回答締切 9～10 月中：結果通知及び認定証の発行 ② １，２級（試験は同時開催） 12 月中：問題作成及び検定受検者募集 1 月中：検定実施 2 月末：結果通知及び認定証の発行	600 地域づくり助成金 (500)

事業名	事業概要	予算額（千円）
ジオカフェ等開催事業	【目的】 ジオカフェは、地域における特色あるテーマについて、地域への愛着を深め、伊豆半島ジオパークを楽しく学ぶ少人数参加型のイベントである。令和7年度も伊豆半島に関する知見の底上げを図りつつ伊豆半島ジオパークの認知度向上を図る。また参画の入り口を多様に用意し、ジオパークを通じた情報発信も併せて行う。 【概要】 伊豆半島に関連する多様なテーマを扱う小規模なトークイベントの開催。テーマに応じてジオパーク推進部の研究員や外部講師を招く。会場は伊豆半島ジオパーク域内各地とする。 【事業計画】 年間5～6回開催。地域資源、環境、自然、温泉、歴史・文化、生態、食等幅広いテーマについて、専門家を招き実施する。	300 県補助(1/3) (100)
学校教育との連携事業	【目的】 ESD（持続可能な開発のための教育）の理念の普及と、学校教育との連携事業に取り組むとともに、教育教材の開発などを進めていく。 【概要】 ・継続的に小・中・高校や特別支援学校との連携による普及活動（ジオ学習）を実施する。 ・小・中・高校や特別支援学校との連携による普及活動において、ジオ教育教材を活用したジオ学習を推進する。 ・小・中・高校や特別支援学校との連携による普及活動において、より多くの学校がジオ学習を行えるよう、新規導入ジオ外学習無償講師派遣事業を実施する。 ・地震等の災害の可能性が高い地域として、防災（減災）教育の普及を推進する。 ・ESD 活動拠点として、他 ESD 活動拠点の先進事例を学ぶとともに、自地域内での ESD 活動を促進する。 ※各小事業については、学校等からの要望により、随時実施する。	1,350 県補助(1/3) (450)
ジオツーリズム促進事業	【目的】 地域在住のジオガイドが、ジオパークの活動指針である地域の自然観光資源や文化資源の魅力や価値や背景をわかりやすく来訪者や地域の方々に伝えるジオツーリズム及びエコツーリズム推進は、ジオパーク活動の地域経済の貢献に寄与するものである。	1,700 地域づくり助成金 (1,700)

事業名	事業概要	予算額（千円）
	【概要】 ・ジオツーリズム促進 伊豆半島ジオガイドによるジオツーリズムの受入体制の整備と誘客に向け取り組みを推進する。若手ジオガイドを対象とした次世代ジオガイド養成事業を実施。研修の一環として9月に十勝岳GPでの全国大会に参加し発表を行う。 ・エコツーリズム促進 現在、策定作業中の「伊豆半島エコツーリズム推進全体構想」を基本に、受け入れ体制の整備、エコツアーの基本的な枠組みを関係者で構築し、ジオガイド、公共交通機関、観光事業者等の連携によるエコツアーの取り組みを行う。着地型モデルツアーの造成にも着手する。 ・域外からの教育旅行受入 ジオ×探究学習を素材に引き続き域外からの教育旅行の受入れに取り組む。	
	合 計	3, 9 5 0 県補助(1/3) (5 5 0) 地域づくり助成金 (2, 2 0 0)

< 事業概要 >

ジオパーク調査研究事業

1 事業の目的

伊豆半島における学術研究の底上げを推進するため、研究員のスキルアップを図るとともに、有識者からの意見聴収を行い、ジオパーク所属の専門職員が研究を実践することで得る知見を実質的な保全活動にも役立てていく。

ジオパーク活動の特徴の一つであるジオパーク同士のネットワーク活動のため、世界ジオパークネットワーク（以下、「GGN」という。）、アジア太平洋ジオパークネットワーク（以下、「APGN」という。）、日本ジオパークネットワーク（以下、「JGN」という。）への活動に参加し、交流により相互でも活動促進に繋げ、ネットワーク活動に寄与する。

2 事業概要

事業名	事業概要	予算額（千円）
研究関連活動事業 （研究員人件費、学会等出席費、研究費）	【目的】 伊豆半島における学術研究の底上げを推進するため、研究員のスキルアップを図るとともに、有識者からの意見聴収を行い、ジオパーク所属の専門職員が研究を実践することで得る知見を事業の立案や実質的な保全活動にも役立てていく。 【概要】 3名の研究員は、国立大学法人静岡大学との包括連携協定に基づき静岡大学の客員准教授に就任。静岡大学の研究者との伊豆半島内での学術研究、教育と人材育成、地域保全と活用に取り組む。 【今後の予定】 ・静岡大学との連携による定期ミーティング参加によるネットワーク強化 ・静岡大学地域創造学環 講義テーマ「自然資産の保護と活用」3研究員が講義予定 ・構成市町や会員からの依頼事項への対応	19,950 18,750 300 900 県補助(1/3) (6,600)
研究活動支援事業	【目的】 世界レベルの研究を支援して、英文による査読論文刊行を励行する。 【概要】 ・伊豆半島における世界レベルの研究推進支援（研究助成事業） ・研究者および高校生による研究成果発表会の開催	950

事業名	事業概要	予算額（千円）
ワーキンググループ 開催事業	【目的】 ジオパークの中期的な方向性について、有識者からの意見聴取と開かれた市民参画の機会を創出する。 【概要】 次期伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク基本計画・行動計画の策定に向け、具体的な施策等の答申を出すための教育・保全・持続可能な開発の3つのワーキンググループを年に2～3回程度開催する。	450 県補助(1/3) (150)
GGN・APGN JGN 活動事業	【目的】 ジオパーク活動の特徴の一つであるジオパーク同士のネットワーク活動のため、世界ジオパークネットワーク（GGN）、アジア太平洋ジオパークネットワーク（APGN）、日本ジオパークネットワーク（JGN）への活動に参加し、交流により相互の活動促進に資するネットワーク活動に寄与する。 【概要】 ・GGN・APGN・JGN 活動への参加、貢献 ・国際会議（9月チリ）への参加 ・JGN 全国大会（北海道十勝岳）、中部ブロック大会（黒部）への参加 ・全国研修会への参加 ・共同イベント等への参加 ・JGN 主催 PR 事業への参加	4,400 県補助(1/3) (1,450)
合 計		25,750 (8,200)

< 事業概要 >

ジオパーク地域連携事業

1 事業の目的

伊豆半島の様々な風景を描いたこども絵画コンクールの開催と、地域内の各ビジターセンターとの連携による地域への認知度の向上を図り、子供たちの伊豆への愛着を深める。

地域活性化事業を通じ、地域住民がジオパークや伊豆半島に関する知見の底上げを図りつつ認知度の向上を図り、来訪者に向けても伊豆半島の付加価値向上につなげる。

2 事業概要

事業名	事業概要	予算額（千円）
こども絵画コンクール事業	【目的】 小中学生を対象に、伊豆半島の美しい自然景観やその上に築かれた生活や文化の再発見を促し、地域愛を醸成する。また、伊豆半島ジオパークの認知度を向上させる。 【概要】 夏休みを含む2ヶ月の期間、伊豆半島ジオパーク域内の小中学生を対象に絵画作品を募集する。入賞作品は11月から2月まで域内各地に会場を設け、巡回展にて紹介する。	200
地域活性化事業	【目的】 地域活性化事業を通じ、地域住民がジオパークや伊豆半島に関する知見の底上げを図りつつ認知度の向上を図り、来訪者に向けても伊豆半島の付加価値向上につなげる。 【概要】 ・パートナーシップ提携者と共同事業の開催（静岡ガスとの共同事業ジオぱくイベント）年4回程度 ・Web広報、メディアへの取材協力等、各種広報事業 ・ロゲイニング大会の開催 3月開催 会場は伊豆北部を予定	3,000 地域づくり助成金 （2,300）
合 計		3,200 地域づくり助成金 （2,300）

< 事業概要 >

ユネスコ世界ジオパーク改善勧告対応事業

1 事業の目的

ユネスコ再審査における勧告については適切な対応を行うとともに、評価を受けた取組についてはさらにその活動を励行して、地域主導の継続した取り組みとして定着するよう努める。

一方、国内外のジオパークや他のユネスコ認定（世界遺産、エコパーク）の隠れた取り組みに学び、理念の深化や事業の改善に活用する。さらに審査への備えとして活動の体系的な記録整備を進める。

各国からのジオパークの視察を受け入れるなど、ジオパーク普及や能力支援を重ね、当ジオパーク活動のプレゼンス強化に努めていく。

2 事業概要

事業名	事業概要	予算額（千円）
再認定対応事業	【目的】 ユネスコ再審査における勧告については適切な対応を行うとともに、評価を受けた取組についてはさらにその活動を励行して、地域主導の継続した取組として定着するよう務める。 【概要】 ・ユネスコ再審査対応 ・可視化向上事業の実施 ・文化遺産の情報発信・利活用事業の実施 ・パートナーシップ協定に基づく連携事業の実施（葦山反射炉、國學院等） ・ESD 事業の実施 ・SDG s 推進事業の実施 ・ビジターセンター連携の実施 ・研究員の研修参加（ギリシア） ・伊豆の本物づくり 【スケジュール】 ・6～8月：現地調査	3, 500 県補助(1/2) (1, 750)
国際交流・協力事業	【目的】 ・国内外のジオパークやユネスコ概念を共有する世界遺産やエコパークの交流を促進していくことで、ジオパーク概念の導入やジオサイト保全などにかかる知見や優良事例を相互に共有するとともに、協働の契機とする。世界各国からのジオパークの視察を受け入れるなど、理念の普及と能力構築に貢献し、世界ジオパークネットワーク内におけるプレゼンスを強化する。 【概要】 ・国内外のジオ・エコパークとの交流促進及び交流事業 ・黒潮展（通年）への参加	1, 000 県補助(1/2) (500)

事業名	事業概要	予算額（千円）
多言語化・デジタル化 情報発信事業	【目的】 英語で提出するユネスコへの報告書（プログレスレポート）の翻訳や、海外への情報発信のため SNS やホームページ、データベースの英語化を行う。 【概要】 ・英語での情報蓄積及び発信 ・データベースの構築管理 ・GGN ニュースレターの実施	2, 0 0 0 県補助 (1/2) (1, 0 0 0)
合 計		6, 5 0 0 県補助 (1/2) (3, 2 5 0)

< 事業概要 >

ジオリア管理運営事業

1 事業の目的

ジオリアの常設展や企画展、各種イベントの開催などを通じ、観光来訪者・在住者（子供から大人までの）教育普及と併せ、伊豆半島ジオパークの普及啓発を行う。

来訪者には、認定ジオガイドの案内業務により、伊豆半島ジオパークへの普及拠点としての機能強化を図る。

また各ビジターセンターとのネットワークの構築を強化し、来訪者への情報発信を適切に行い、域内来訪者のジオパークの情報発信拠点として来館者の満足度の向上と域内への回遊を促進する。

2 事業概要

事業名	事業概要	予算額（千円）
ジオリア管理運営事業	【目的】 ジオリアの常設展や企画展、各種イベントの開催などを通じ、観光来訪者・在住者（子供から大人までの）教育普及と併せ、伊豆半島ジオパークの普及啓発を行う。来訪者には認定ジオガイドの案内業務により、伊豆半島ジオパークの普及拠点としての機能強化を図る。また、各ビジターセンターとのネットワークの構築を強化し、来訪者への情報発信を適切に行い、域内来訪者のジオパークの情報発信拠点として来館者の満足度の向上と域内への回遊を促進する。 【概要】 ・ジオリアの管理運営事業 ・常設展、企画展の開催・イベント開催 ・ジオ関連商品の販売	11,100
合 計		11,100